

製品名: KCND2 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81451**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	70.5kDa

抗原情報

遺伝子名	KCND2
別名	RK5; KV4.2
遺伝子 ID	3751.0
SwissProt ID	Q9NZV8
免疫原	大腸菌で発現したヒト KCND2 (AA: 27-184) の精製された組み換え断片。

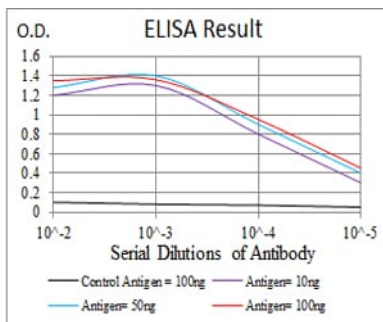
背景

電位依存性カリウム (Kv) チャンネルは、機能的および構造的観点から、電位依存性イオンチャンネルの中で最も複雑なクラスに属します。その多様な機能には、神経伝達物質の放出、心拍数、インスリン分泌、神経細胞の興奮性、上皮電解質輸送、平滑筋収縮、細胞

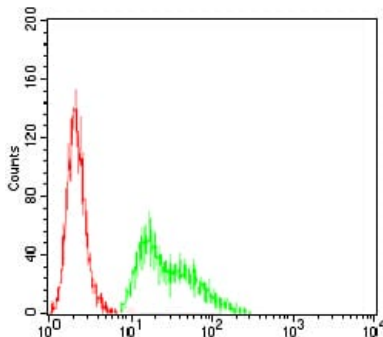
容積の調節が含まれます。ショウジョウバエでは、shaker、shaw、shab、shal という4つの配列関連カリウムチャンネル遺伝子が同定されており、それぞれにヒトホモログが存在することが示されています。この遺伝子は、電位依存性カリウムチャンネルの shal 関連サブファミリーに属するメンバーをコードしています。このサブファミリーのメンバーは、電位活性化 A 型カリウムイオンチャンネルを形成し、活動電位の再分極期に重要な役割を果たします。このメンバーは、Shaker チャンネルのように N 末端の制御を受けない、急速に不活性化する A 型外向きカリウム電流を媒介します。

研究分野

画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



KCND2 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Hela 細胞のフローサイトメトリー分析。